

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス パディ		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 10日 ～ 2025年 3月 15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	5
○従業者評価実施期間	2025年 2月 10日 ～ 2025年 3月 15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども主体の支援を大切にし、一人ひとりの特性や発達段階に合わせた支援を行っている。	・アセスメントを丁寧に行っている。 ・個別支援計画の具体化を図っている。	・支援終了後に子どもと一緒に振り返る仕組みを導入し、「できたボード」などの見える化を図る。
2	保護者の方との関係を築くためにも、日々の連絡帳や面談等できちんと情報共有ができています。	・連絡帳でのやり取り ・定期的な面談の実施 ・行事や活動の内容を共有	・事業所での支援内容と連動し、家庭でも取り組める工夫を共有する。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動、保護者会等を開催できていない。	・過去の感染症対策の名残や習慣により、対面の集まりが避けられている。 ・保護者の勤務状況や家庭事情により、参加のハードルが高い。	・簡易な交流イベント（30分程度）を開催し、ハードルを下げた継続的な関係を築く。
2	地域との連携・社会資源との連携が弱い。	・社会資源の情報や地域の取り組み内容が事業所内で共有されていない状態にある。	・社会資源マップを作成し、スタッフ全体で共有・活用できる仕組みを構築する。
3			